

6月補正予算

2億5,398万円増

平成22年度当別町一般会計予算の総額に歳入歳出それぞれ2億5,398万円を増額し歳入歳出それぞれ82億9,549万円とする補正予算案を可決しました。

【歳出の主なもの】

・旧中小屋中学校体育館復旧工事	554万円
・旧東裏小学校屋根修繕	200万円
・役場書庫修繕	127万円
・認定子ども園整備事業補助金	2億3,625万円
・当別町子どもハウス解体工事	359万円
	など



修繕される役場書庫

監査委員に米口稔氏を再任

任期満了に伴い、米口氏の再任に同意しました。
任期は平成22年8月10日から4年です。

監査委員（かんさいいん）とは地方自治法に基づき議会の同意を得て町長から選任される監査委員は、町長の指揮監督を受けずに独立した立場で監査を実施し、関係法令や予算に基づき適正に行われているかどうかを主眼に行政運営全般を監査することができます。



米口 稔氏
68歳
(弥生在住)

平成22年第3回 当別町議会定例会

平成22年第3回当別町議会定例会は、6月8日から10日まで3日間の日程で開催されました。

町議会は、初日に2件の議員提案を可決し、1件の請願書を本会議で採択しました。

また、町から提出された3件の報告を承認し、1件の人事案件に同意したほか、平成22年度一般会計補正予算案を含む9件の議案を原案のとおり可決しました。

なお、9日は休会し、10日は一般質問を3人の議員が行いました。

町村議会議員として多年にわたり地域の振興発展に寄与された功績が認められ全道町村議会議長会より表彰されました（6月8日議場にて）。



議長在職7年表彰の竹田議長（中央）と議員在職15年表彰の島田議員（左）

《表彰》



3月21日に発生した爆弾低気圧により北側の屋根がはがれた旧中小屋中学校体育館

陳情・請願 審査付託の件

定例会初日、請願書1件が提出され、町議会は産業建設常任委員会への審査付託を省略して本会議で採択しました。
なお、定例会終了後に意見書として関係機関へ送付しました。

議員提案

定例会初日、2件の議員提案が提出され、全会一致で可決されました。
なお、定例会終了後に町議会は2件の議員提案の意見書を関係機関へ送付しました。

平成22年第3回 当別町議会臨時会

本臨時会が5月21日に開催され町議会は6件の専決処分を承認し、補正予算案1件を原案のとおり可決しました。
専決処分（せんけつしよぶん）とは
地方公共団体の長（以下、町長）が地方自治法の規定により議会の決定の前に町長自らが処理することをいいます。専決処分には二種類あります。緊急の場合の専決処分（参照：地方自治法第179条）

このため議会を召集せずに専決処分を乱発すると鹿児島県阿久根市でのような混乱した状況が発生します。
議会の委任による専決処分（参照：地方自治法第180条）
議会の権限に属する軽易な事項で、予め議会で決められた事項を町長が迅速に処分することができます。

請願書

食料供給力の確保に必要な農業生産基盤整備等の促進に関する請願書

議員提案第1号

機能性低血糖症に係る国の取り組みを求める意見書
提出者 小野 広実

《請願団体》

- 当別土地改良区
理事長 山田 智
篠津中央土地改良区
理事長 武田 八郎
北生振土地改良区
理事長 熊倉 守
中新土地改良区
理事長 田畑 富美男
紹介議員 岡野喜代治
市川 正
小早川孝男
白杵 英男
稲村 勝俊

議員提案第2号

未就職新卒者の支援策実施を求める意見書
提出者 小野 広実

一般質問

一般質問は6月10日、3名の議員が登壇し町政をたどりました。詳しくは、本日より7～9頁をご覧ください。

ただし、議会の招集は町長の権限であるため、延々と議会を開かなければ理論的には専決処分が有効となります。



適正な町政運営のため様々な権限を持つ町議会